

## よこすかYYのりものフェスタ2015で自衛隊をPR



戦艦「三笠」の正面に構えた地本ブース

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充 1等海佐）は、6月13日（土）及び14日（日）、「よこすかYYのりものフェスタ2015」（横須賀市）に広報ブースを出展し、広報活動を行った。

この催しは、横須賀市観光協会が主催し、「のりもの」をテーマに、三笠公園、ヴェルニー公園、横須賀地方総監部などの各会場で開催された。

三笠公園会場では、民間の自動車やバスなどが展示されていたが、地本のブースでは、高機動車と偵察用オートバイ（第31普通連が支援）をはじめ、装備品の写真パネルや、戦闘糧食を展示した。ブースには子供から大人まで多くの市民が足を運び、普段乗ることのできない自衛隊車両に試乗し、「どれくらいのスピードがですか?」「このバイクに乗ってどんな仕事をするのか?」「どうすれば、自衛官になりますか?」と、質問する小学生の姿が見られた。用意した1,000組のグッズが、あっという間になくなるほど、大盛況のうちに2日間のイベントが終了した。

神奈川地本は、「今後も、積極的に自衛隊を広報し、防衛基盤の拡充に努めていく」としている。

## よこすかYYのりものフェスタ2015で広報



広報ブースを訪れた方々

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、6月13日（土）及び14日（日）、「よこすかYYのりものフェスタ2015」において募集広報活動を行った。

この催しは、横須賀製鉄所（造船所）創設150周年記念事業として実施されており、「のりもの」というテーマを通じて、様々なイベントが三笠公園、ヴェルニー公園、横須賀地方総監部等で開催された。

両日とも天気恵まれ、横須賀地方総監部の会場では、護衛艦「いずも」の公開、ヘリコプターの離発着などが行われ、多くの来場者で賑わっていた。広報ブースでは、海上自衛隊セーラー服等の試着を始め、自衛艦の説明資料や海上自衛隊階級章・防衛記念章を展示したが、自衛隊の活動に興味を持つ方や、将来自衛官を希望している方が訪れ、各募集種目についての問い合わせなどが相次いだ。



総監部前岸壁からヘリコプター離陸



護衛艦「いずも」と岸壁の様子

## 念願のウィングマークとえにし



左から黒木1曹母、井川3佐、黒木1曹、黒木1曹姉



黒木1曹同期

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、6月22日（月）、厚木募集案内所から空自航空学生に入隊した黒木1曹より、基本操縦課程を無事修業しウィングマークを取得した、と報告を受けた。

黒木1曹は、平成22年度に空自航空学生に見事合格。戦闘機操縦士を目指して、操縦訓練を受けていた。教官の井川3佐とは、同じ高校、同じ案内所の出身ということも判った。また所長も、黒木1曹のお父様には、部隊で大変お世話になっており、縁の結び付きを感じた。黒木1曹は今後、予てからの希望であるF-15搭乗員になるべくステップアップしていく予定である。

厚木募集案内所は、「案内所関係者の情報交換の中枢的機能を果たすべく、多くの情報を把握し、年代を超えて入隊者を結び付けられる、温かみのある事務所を目指す」としている。